

○次回の連携協議会では、次期推進計画の骨子をお示しして議論をしていただきたいと思います。（「検討補助資料」を添付しましたが、議論の参考までに作成したものです。）
 前回までの議論を深め具体的な方策につなげるため、今回は「学校の専門性・支援力の向上」「学校を支える連携・協力体制の強化」について、御意見ををお願いします。

資料5

学校の専門性・支援力の向上

学校を支える連携・協力体制の強化

小・中学校

- ・発達障がいのある児童生徒への支援力向上、合理的配慮の充実
- ・多様な子どもが活躍できる集団づくりの力量向上
- ・通級指導教室の拡充と、通常の学級での学びを支える機能のあり方
- ・自立に向けた力がつけられる特別支援学級の充実
- ・特別支援教育コーディネーターが機能し、学校全体がチームで支援する体制づくり
- ・学びの場の柔軟な見直しの促進

- ・幼保における早期発見・早期対応の継続・発展
- ・小中高を通じて学びを支援するための、切れ目のない連続的支援
- ・個別の教育支援計画を活用した、医療、福祉等関係機関との継続した連携
- ・特別支援教育コーディネーター連絡会等の地域における連携強化

高等学校

- ・全職員の発達障がいに係る理解と支援力の向上、推進リーダーの育成
- ・多様な教育的ニーズに応じるための仕組み(通級による指導等の効果的な展開)
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の強化

- ・中学校からの確実な支援の接続
- ・特別支援学校のセンター的機能や外部専門家の活用
- ・卒業後を見据えた、医療、福祉、労働等関係機関との連携
- ・進路先への確実な移行支援

特別支援学校

- ・障がいの種別の教育の充実と役割に応じた専門性の向上
- ・県内どの地域でも専門的な教育を受けられるような、各特別支援学校の位置づけ・機能の見直し
- ・今後の特別支援学校のあり方を踏まえた、環境整備

- ・より地域に近い場所で専門的な教育が受けられる仕組みの検討(副次的な学籍、分教室、市町村立特別支援学校等)
- ・小中学校等との「学習内容の連続性」を強化
- ・コミュニティスクール等、地域との協業
- ・医療、福祉、労働等関係機関と連携した、一人一人の教育的ニーズに応じた進路支援の充実
- ・各小中高自身の特別支援教育への対応力を高めるための特別支援学校のセンター的機能

市町村教育委員会

- ・早期のアセスメントの更なる拡充と、集団の中での育ちにつなげる取組の促進
- ・個に寄り添い継続して支え、適切な就学判断と柔軟な学びの場の見直しができる教育支援の充実
- ・医療、保健、福祉、教育、労働等の連携によるライフステージに応じた支援
- ・個別の教育支援計画を活用した進路先への確実な移行支援
- ・多様な個性を育む社会の実現に向けた理解啓発